

名 称	鹿沼市小中学校再編計画策定に向けた意見交換会（南押原地区）について
日 時	令和6年3月1日（金）19時00分～20時15分
場 所	南押原コミュニティセンター
出 席 者	参加者：17名
内容及び 結果等	<p>①南上野地域は現状、北犬飼中にも進学することができるかと思う(指定校変更にて進学することができる)。今後もそのようなことでよいか。現在、南上野町の小学生は今年度卒業する子を含めて20名いる。そのうち卒業生が4名いるが、南押原中ではなく北押原中に進学することになっている。下学年の保護者に聞いても、北押原中に進学したい考え。そのことを踏まえ、みなみ小・南上野は学区変更という形で北押原中にするにはできないのか。</p> <p>②みなみ小は、みなみ町・上奈良部町・下奈良部町からも進学があるが、その地区の子供たちを南押原中への進学はできないのか。子供が●年生にいるが、学年25人のうち南押原地区が1人しかいない。1人だけとなると中学進学の際に友人のいる学校への転校という考えも出てくるので、その点も踏まえて検討していただきたい。</p> <p>【回答】</p> <p>①進学先が選べる現状は事務局としても把握している。今回の再編方針案としては、あくまで南押原地区を一つに統合をすることを念頭に計画を作成した形になる。南上野地区の方々が北押原中への進学というご意向を持たれていることは認識した。このことを踏まえて再編方針案を検討していきたい。</p> <p>②ご意見として承りたいと思う。</p> <p>①南押原小のコミスクの中では再編についての具体的な話はしていない。南押原地区で「教育を考える会」を市の設置よりも前から組織化し、これまで3回ほど関係者の方々にお集まりいただき協議をしている。その中で大きな流れとしては、南押原小と楡木小、場合によってはみなみ小の統合を一つの流れと考えている。併せて、小中の一貫校を目指すべきものと考えている。</p> <p>もう一点、前の発言者からお話があったが、北押原と南押原小・楡木小の学区の編成はスクールバスだけで対応ができるのか。南押原地区の教育を考える会の中では、今後、保護者を含めた地元へのアンケート調査を行うということになっている。来年度になるかと思うが、アンケートで南押原小・楡木小・みなみ小が抱える具体的な問題が見えてくるかと思う。この計画の期間は10年で前期と後期と別れている。私たちも地域に話を聞いたところ、小規模校を適正規模化していく統合も結構ではあるが、その先の5年後10年後にまた同じ問題が起こるのではないかと。それなのであれば初めから、スクールバスなどを用いて大規模校に進学することもやぶさかでないという意見が多くある。単に地区内の統合に固執するのではなく、中長期的視点を持って議論をしていくべき。様々な課題があるかと思うが、統合に関しては賛成の立場にある。</p> <p>②アンケートの回答率がなぜ低いのか。回答率が低い要因の分析は行ったのか。回答率が低いということがどうしても気になる。住民や関係者の方々の声が明確に反映されてない。どの点に問題があるのかわかる範囲で教えていただきたい。</p> <p>③小中一貫教育について、県内での事例はあるのか。東京や埼玉で行われているということは聞いているが、具体的な事例を把握しているかということもお伺い</p>

したい。

【回答】

①中長期的な考えをもって進めてほしいというご意見、非常にありがたい。地域のご意見や保護者のご意見をいただきながら、中長期的な考えをもって進めていきたいと考えている。

②アンケート調査については、ご協力をお願いする形で、強制力を持って行ってはいない。お願いをする形で行っていたため、回答率の低さの要因の分析までは難しい状況であると考えている。1回だけのお願いであったため、統計調査のように回答がないところを再度訪問ということではなかった。回答率が50%であったが、事務局としては逆に50%も回答があったと判断しているところ。

③小中一貫教育の取組事例について、県内ではそれぞれ6事例。義務教育学校が小山市に絹義務教育学校の1校。下野市に南河内小中学校の1校。那須塩原市に那須塩原小中学校、箒根学園の2校。佐野市に葛生義務教育学校、あそ野学園義務教育学校の2校の計6校。小中一貫校に関しては、小山市に豊田小中学校の1校となっている。

①資料3 ページ、項目5の表の中に、北犬飼地区の義務教育学校と南押原地区の小中一貫教育とあるが、この違いは何か。

②小学校を統合したうえで中学校との一貫教育という形になるのか、南押原小・楡木小・みなみ小それぞれの校舎を使って小学校教育を行い、中学校との一貫教育となるのかお伺いしたい。

【回答】

①義務教育学校について、北犬飼地区に関しては北犬飼中の校舎建て替えに併せて、小中一貫教育を実施する義務教育学校の新設を考えている。1人の校長先生のもと1つの教職員組織が置かれ、義務教育の9年間を一つの学校で行う形になる。中学校1年生は義務教育学校の7年生というように、区切りがない形で1つの学校として9年間の教育を行う形になる。

南押原地区で検討する小中一貫校については、それぞれの小学校・中学校は従来の形のまま残り、2校が一体となって9年間の義務教育課程を作成し学校運営をしていくもの。それぞれ小学校に校長先生と教職員組織、中学校に校長先生と教職員組織が存在する形。校舎の新築について、南押原地区において現段階では検討をしていないため、義務教育学校の検討までは掲載していない形になる。

②今回の再編の一番の目的は、小規模校の解消。小学校の統合は地域の動きも踏まえつつ、あくまで小学校を統合したうえで南押原中との小中一貫教育を実施する形で考えている。

①令和15年度よりも先を見据えて計画をしてほしい。葛生地区はかなり前から統廃合が進んでいる。小中一貫校にした場合のメリット・デメリットなどの他市の先行事例の内容を認識しているのか。

②この計画は学校教育課独自で進めているものなのか。コンパクトシティとの関連はどうなのか。

【回答】

	<p>①メリットとしては、小学校から中学校へのつながりがスムーズにできる。小学校から中学校に進学した際の中1のギャップの解消につながる。また、小学校時の学習で定着しきらなかった内容について、中学校の課程で補うことが容易になる。小学生の中学生へのあこがれや、中学生の小学生への思いやりがはぐくまれ、幅広い学年での交流により精神的な発達が見込めるということがメリットとされている。デメリットとしては、小学校5・6年生の時期に年長者としてのリーダーシップや自主性を養う機会が減少してしまう点。9年間での人間関係が固定化してしまうということがある。</p> <p>②市の総合計画に基づいて進めている。骨子案の初めにも記載があるが、鹿沼市総合計画があり、その中で鹿沼市教育大綱、鹿沼市教育ビジョンがあったうえで鹿沼市小中学校適正配置の基本計画がある。市の関連部署とも連携・調整を図りながら計画の骨子をまとめてきている。</p>
	<p>昨年6月頃は楡木小の入学予定者が7名であったが、進学が確定したのは5名。明確な理由はわからないが、7人という数にインパクトがあったのではないかとと思う。資料の令和15年度児童数の予測であるが、現在出ている数字よりも減少が加速しているのではないかと。中学校に進学する際も同じことがいえると思う。南押原中の令和15年度の生徒見込み数は49名である。私たち親の感覚では、クラス替えもなければ一学年20数人ということになり、仕分け上仕方のないことかもしれないが、50人を下回っている数字は全然適正規模ではない感じがする。街で生活をしている仲間からは、その人数しかいないのかということをお話されてしまう。現在でこれだけの人数減少があると、今後歯止めが利かなくなってしまうように思うため、皆さんもお話されているが長い目で見た計画をしてほしいと思う。</p> <p>【回答】 ご意見として受け止めたと思う。</p>
	<p>意見を求めたが保護者からの意見は、これ以上なし</p>
	<p>意見ではなく要望。本日お集まりの方々には皆さん、発言はなくても意見をお持ちだと思ふ。どうしてもマイクを使うということになると遠慮をしてしまう方がいらっしやるかと思ふ。なにかアンケートのようなものを回していただいて、そこに自由に思うことを書いてもらうような形にすると、全員の意見がまとまるかと思ふ。4月には地域向けの説明会があるかと思ふが、その時には参加者全員に何か記述してもらい、声なき声を出してもらう形にしていただくようご検討いただければと思ふ。</p> <p>【回答】 次回の意見交換会からアンケートを導入したいと思ふ。</p>
	<p>急遽、白紙に自由意見を記述いただく形で対応。</p>
	<p>閉会</p>
<p>配布資料</p>	<p>鹿沼市小中学校再編計画骨子、鹿沼市の小中学校の配置図</p>